



暴風雪による被害の特徴を知る

- 吹きだまり、暴風や視界不良による歩行困難、暴風による飛散物など被害の特徴を知っておきましょう。
- 電線着雪や強風、飛散物により電線が切れるなどして、停電が発生し、天気が回復するまで復旧作業が行えず、長期化することがあります。



日常から暴風雪に備える

- 気象情報に注意して、暴風雪が予測されているときは外出を避け、停電に備え備蓄するなど、家の中で安全に過ごすための準備をしましょう。
- やむを得ず車で外出する時には、天気の急変などで車が立ち往生することを想定し、装備を確認しましょう。



もしも暴風雪に遭遇してしまったら

- 歩行中や屋外で作業中のときや車を運転しているときなど、暴風雪に遭遇してしまったとき、どうすればよいか確認しておきましょう。
- 特に、車内で救助を待つときは排気ガスによる中毒や低体温症に十分注意が必要です。



日常から暴風雪に備える



- 家の中で安全に過ごすため、停電に備えて、懐中電灯、携帯ラジオ、防寒具、ポータブルストーブや灯油、非常食、飲料水などを準備しておきましょう。FF 暖房機の吸排気口が雪でふさがれないようにしましょう。
- 車で外出する時には、車が立ち往生することを想定して、防寒着、長靴、手袋、スコップ。けん引ロープなどを用意しておき、十分に燃料を確保しておきましょう。

もしも暴風雪に遭遇してしまったら



- 歩行中や屋外で作業中のときは、近くの商店・コンビニエンスストア、人家など、建物の中の安全な場所へ避難しましょう。
- 車を運転しているときは、道の駅などで天気の回復を待ち、気象情報や道路情報を確認しましょう。
- 車が立ち往生したときは、ハザードランプを点滅するなどし、後続車から追突されないようにして下さい。車内で救助を待つときはエンジンを切り、一酸化炭素中毒の危険をなくしましょう。